

# 向日市民温水プールあり方検討会議 報告書

令和6年8月

向日市民温水プールあり方検討会議

## 1 検討結果

既存施設を解体し、以前よりも施設規模を縮小した市民温水プールを再整備する。

新たに整備する市民温水プールについては、幅広く市民が活用できる施設とすることはもちろんのこと、学校の水泳授業も実施できるよう整備することで、今後必要と見込まれていた学校プールの改修費用を不要とし、市全体で見たときの財政負担を低減する。

## 2 再整備のコンセプト

- ・ 幼児から高齢者までの利用に配慮し、幅広く市民が活用できる施設
- ・ 学校プールとしても活用し、かつ永続的に利用できる施設
- ・ ユニバーサルデザインや環境にも配慮した施設

## 3 整備内容に対する意見

「プールの整備」については、「再整備のコンセプト」の実現に向けて、必要な整備を行っていただきたい。特に、「学校プールとして必要な整備」については、適切な水泳授業の実施ができるよう教育委員会で、十分に検討していただくことが必要である。

「プール以外の整備」については、永続的に利用できる施設とするためにも、市の財政負担を考慮し、「必要最小限の整備」とするが、プールを利用しない人でも自由に利用できるフリースペースを整備することで、幅広く市民が活用できる施設となることを期待する。

「建設・運営手法」については、現段階では、整備内容が確定していないことから、最適な建設・運営手法を判断することが難しいが、健康増進センターとの連携や民間活用も含めてしっかりと検討していただきたい。

「運営に関わる内容（市民・市民以外の利用料金区分や駐車場の料金制導入）」については、導入することが望ましいが、本あり方検討会議で、収支に及ぼす影響を検証することは難しいため、運営手法や運営主体の決定以降に、どのように実施・導入することが適切かを運営主体と協議し、決定していただきたい。

「余剰スペースの整備」については、今後のまちづくりの状況も不確定要素が多いことから、市内の他施設との重複を避けるためにも、現時点では、具体的な整備を控え、駐車場や更地など後々整備を行いやすい状況にすべきという意見を申し添える。

## 4 会議開催経過

### 第1回向日市民温水プールあり方検討会議（令和5年7月11日）

（会議次第）

- 1 市民温水プールの概要と向日市の現状について
- 2 市民温水プールに対する考えについて
- 3 その他

（会議での主な意見）

- ・財政を圧迫してまでプールを建設すべきという訳ではない。
- ・市民の健康増進のためにできた施設なので、存続してほしい。
- ・周辺のまちづくりの状況も見ながら、判断しなければならない。
- ・学校の水泳授業で使ってはどうか。
- ・向日市の人口、財政規模で温水プールが本当に必要か。
- ・未来を担う子どもたちに何を残すか、責任をもって判断すべき。
- ・プールではなく、防災公園などの検討も必要ではないか。

### 第2回向日市民温水プールあり方検討会議（令和5年9月26日）

（会議次第）

- 1 前回の会議内容について
- 2 他自治体事例について
- 3 意見交換
- 4 その他

（会議での主な意見）

- ・小・中学校のプールも改修費が掛かるので、集約化は良いと思う。
- ・老朽化した小中学校のプールを集約するのであれば、再整備に賛成。
- ・教育委員会の考えや学校プールの現状を伺いたい。
- ・周辺のまちづくりの状況にもよるが、再整備は時期尚早ではないか。
- ・既存施設の1/4でプールを再整備し、残り3/4を複合施設にしてはどうか。
- ・向日市のスポーツ関連の要望等がどんなものがあるか知りたい。

### 第3回向日市民温水プールあり方検討会議（令和5年12月25日）

（会議次第）

- 1 前回の会議内容について
- 2 学校プールについて
- 3 市民温水プールの活用（水泳授業）について
- 4 意見交換
- 5 その他

(会議での主な意見)

- ・学校プールとして活用することを前提に市民温水プールを再整備する。
- ・既存施設よりも施設規模を縮小する。
- ・子どもから高齢者まで幅広い世代が利用できる施設とする。
- ・次回の会議で施設規模や利用区分、利用料金等の再整備に対する議論を重ねる。
- ・文化財の取り扱いについて、必要な手続きを整理する。
- ・プール以外の余剰スペースの活用についても、要望や提案を行う。

## 第4回向日市民温水プールあり方検討会議（令和6年3月26日）

(会議次第)

- 1 前回会議の内容と今後の会議進行の流れについて
- 2 プールの整備について
- 3 余剰スペースについて
- 4 その他

(会議での主な意見)

- ・幼児から高齢者までにも配慮しながら、幅広く市民が活用できるようにする。
- ・学校プールとしても活用するが、市民利用への配慮も必要。
- ・プールの深さや児童用更衣室など、子どもの利用面や安全面への配慮も必要。
- ・維持管理に係る財政負担の少ない施設とし、持続的な利用を目指す。
- ・プールとして必要な整備だけとするか、プール以外の付加価値を付けるか
- ・整備内容が他の施設（向日町競輪場敷地に整備を検討中のアリーナを含む）と機能が被らないことが重要

## 第5回向日市民温水プールあり方検討会議（令和6年6月25日）

(会議次第)

- 1 前回会議の内容と会議進行について
- 2 コンセプトの実現に必要な事項等について
- 3 意見のとりまとめについて
- 4 その他

(会議での主な意見)

- ・学校の水泳授業で使用することを条件に再整備することを再確認
- ・プール以外の整備も必要だが、規模の大きなものではなく必要最低限でよい
- ・プール以外の整備については、使用用途を設定しないフリースペースが望ましい
- ・フリースペースであれば、水泳授業の準備運動（アップ）等でも利用できる
- ・フリースペースの規模は、既存市民温水プール観覧席程度のイメージ
- ・健康増進センターと連携することを見据え、整備内容を検討すべき
- ・余剰スペースの整備は、他施設と重複を避けるため駐車場や更地などが望ましい

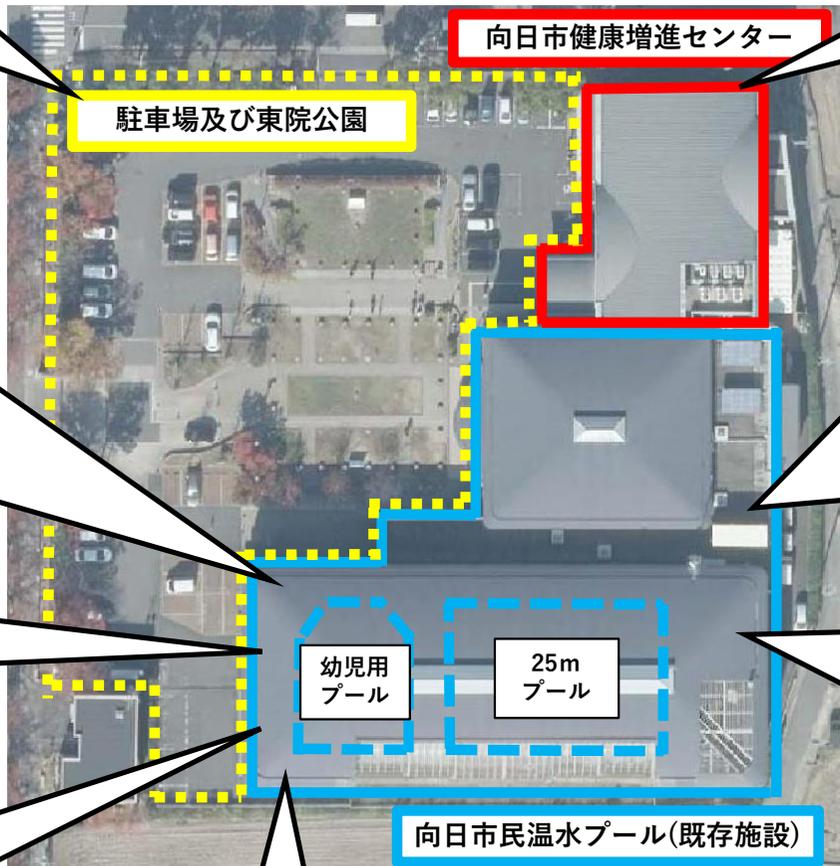
## 5 委員名簿

区分	氏名	所属等
学識経験を有する者	松永 敬子	龍谷大学 学長補佐 経営学部 教授 (スポーツサイエンスコース)
市民又は利用者の代表	木村 作彦	鶏冠井区長
	藤田 太美雄	上植野町自治連合会長
	黒木 美幸	市民公募委員
	山本 哲也	市民公募委員
	長谷川 みゆき	市民公募委員
	近藤 容子	市民公募委員
その他市長が必要と 認める者	大川 猛	向日市商工会 副会長
	梅田 一美	向日市スポーツ推進委員会 副会長
	高橋 登	向日市スポーツ文化協会

※敬称略

# 市民温水プール整備に対する意見まとめ

## ■現状写真（既存施設）



### 駐車場及び東院公園に対する意見

- ・ 駐車場整備については、運営主体決定後に運営主体と協議し、料金制導入を検討すべき

### プール以外の整備に対する意見

- ・ キッズスペース
- ・ 図書スペース
- ・ マルシェ等ができるスペース
- ・ 多目的室
- ・ 温浴設備（お風呂・ジャグジー）
- ・ 防災関連設備

検討の結果

プール利用者以外も利用できる使用用途を設定しないフリースペース（必要最低限の整備）

### 建設・運営方式に対する意見

- ・ 現段階で適正な手法が何かの判断は難しい
- ・ 整備内容の方向性決定後に検討すべき

### 規模縮小時に発生する余剰スペースに対する意見

- ・ 周辺のまちづくりも不確定要素が多いので、柔軟な対応ができる更地や駐車場が良い
- ・ 整備時は、市内他施設と機能が被らないことが重要

### 健康増進センターとの連携に対する意見

- ・ 既存のスタジオを多目的室等としても、活用することで余計な費用を抑えられる

### プールの整備に対する意見

- ・ 幼児から高齢者までの利用に配慮し、幅広く市民が活用できる施設
- ・ 学校プールとしても活用する
- ・ 永続的に利用できる施設
- ・ 維持管理費をできる限り掛からないようにすることが重要
- ・ ユニバーサルデザインや環境にも配慮する（入水時用スロープ等）
- ・ 市民と市民以外で料金を区分すべきだが、運営主体と協議し、適正な内容を検討すべき

### 教育委員会に対する意見

- ・ 学校プールに必要なもの一式の検討（25mプール等）
- ・ 幼児用プールや児童用更衣室、採暖室等の必要性（設置有無）の検討
- ・ その他、水泳授業を円滑に進めるための検討

### プールの規模に対する意見

- ・ 規模を縮小すべきだが、水泳授業実施に必要な規模は確保しなければならない